

部局名	安全環境部	所属名	交通安全対策課	所属長名	古木 明良	電 話	483-1151 内線3630
-----	-------	-----	---------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3305		事務事業名称	交通安全教育啓発事業						短縮コード	経常	3305	臨時	3306
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	02	道路橋梁費	目	04	交通安全対策費		
区 分	☒ 自治事務			☐ 法定受託事務		根拠法令等	交通安全対策基本法							
	☐ その他													
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
交通安全対策基本法施行(昭和45年法律第110号)により開始した事業であり，幼児から高齢者までの交通安全教育及び関係機関と協力し啓発活動を実施することで，交通事故の防止を図る。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測						総合計画の施策体系	5本の柱（章）	03	安全・環境共生都市をめざして					
高齢者及び自転車の交通事故割合が増加傾向にある。							大項目（節）	01	市民の安全					
							中 項 目	04	交通安全					
							小項目（施策）	01	交通安全活動等の推進					
							細 項 目	01	交通安全意識の普及・啓発					
02	交通安全活動・教育の推進													
						実 施 計 画 の 計 画 事 業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	・市民 ・車の運転者 ・補助金 八千代交通安全協会 交通安全運動等の啓発活動費							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： ・幼児・小学生・中学生・高齢者の交通安全教室。 ・春夏秋冬の交通安全運動。・シートベルト着用推進啓発。 ・交通安全協会への補助金。							
	※平成23年度に計画していること： ・幼児・小学生・中学生・高齢者の交通安全教室。 ・春夏秋冬の交通安全運動。・シートベルト着用推進啓発。 ・交通安全協会への補助金。							
意図 （何を狙っているのか）	交通安全に関する思想及び知識を普及し，習慣化させる。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	人口	人	192, 570	196, 000	193, 274	196, 400	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	交通安全教室の実施回数	回	144	160	139	160	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	交通安全教室の参加人数	人	14, 133	18, 000	13, 585	18, 000	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3305	事務事業名称	交通安全教育啓発事業				所属名	交通安全対策課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。				☐ 改革・改善して継続		交通事故の防止を図るため、市の責務として終期設定はできない。 高齢者及び自転車による交通事故が増加傾向にあることから、交通安全教室の充実及び自転車の啓発活動の推進を図り継続して行く。	
					☐ 手法プロセスの改革・改善			
					☐ 事業規模の拡大・縮小			
					☐ 統合・役割見直し			
				☐ その他				
				☐ 廃止・休止				
			☐ 事業完了					
			☒ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			特に高齢者や幼児・児童の交通事故を未然に防ぐため、交通安全教室の内容を充実させながら継続。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
高齢者教育の充実及び自転車の交通ルールやマナー遵守のための教育啓発活動の推進。									

所属長コメント	交通事故の防止を図るため、関係機関と連携し交通安全運動等の啓発活動を推進する。 交通安全教室においては、対象化された団体のなかの実施出来ていない組織に対し積極的に開催を呼び掛けるとともに、より実践的な教育内容の充実を図り継続していく。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									